

# 平成21年度香取市の財務書類4表（概要版）

## 1. はじめに

地方公共団体の公会計の整備については、いわゆる「地方分権一括法(H12.4)」が施行され、地方分権への取り組みが加速されるのに併せ、既存の現金収支にかかる財政指標だけでなく、自治体の財政状況を総合的かつ長期的に把握するため、企業会計的手法の導入が求められることとなりました。その後、具体的な導入方法について調査・研究が行われるとともに、「行政改革の重要指針(H17.12)」により、地方においても、資産・債務改革へ積極的に取り組むことが明示され、「簡素で効率的な政府を実現するための行政改革の推進に関する法律(H18.6)」及び「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2006」を踏まえ、「地方公共団体における行政改革の更なる推進のための指針(H18.8)」が示されました。この指針を受けて、地方公共団体は、財務書類4表（貸借対照表、行政コスト計算書、資金収支計算書、純資産変動計算書）と、関係する情報の開示に取り組むこととなりました。

また、新地方公会計制度を導入する目的は、単に財務書類を作成・公表するだけでなく、市民に対し、財政状況を適切に情報開示することや、庁内における行財政運営に活用する仕組みを併せて検討・実施することにあるといわれています。

香取市では、平成19年10月に国（総務省）が公表した「新地方公会計制度実務研究会報告書」の『総務省方式改訂モデル』に基づき財務書類4表を作成しました。

## 2. 香取市の普通会計財務書類4表

### (1) 貸借対照表（バランスシート）

H22.3.31現在(単位:千円)

借	方	対前年度 増減額	貸	方	対前年度 増減額			
[資産の部]			[負債の部]					
1	公共資産	90,408,504	1,280,475	1	固定負債	37,588,963	1,482,420	
2	投資等	7,842,467	571	2	流動負債	2,808,687	9,600	
3	流動資産	4,916,139	1,179,391	負債合計		40,397,650	1,492,020	
			[純資産の部]					
			純資産合計		62,769,460	968,417		
資産合計			103,167,110	2,460,437	負債・純資産合計		103,167,110	2,460,437

● 資産総額は約1,032億円、負債総額は約404億円で、純資産総額は約628億円です。

● 資産総額については、公共資産において、有形固定資産が増加していることと、財政調整基金の積立て等により流動資産も増加していることから、約25億円の増となっています。

● 負債総額については、固定負債の長期未払金において、債務負担行為（PFIによる施設整備や指定管理委託料等）による支出予定額が増えていること等から、約15億円の増となっています。

● 市民一人当たりになると、資産は約121万円、負債は約47万円となっています。

※人口は、平成22年3月31日現在の85,069人を使用（以下同じ）。

## (2) 行政コスト計算書

H21.4.1～H22.3.31(単位:千円、%)

区分	平成21年度	対前年度 増減額	対前年度 増減率(%)	構成比(%)
経常行政コスト a	26,631,942	2,404,394	9.9	
1 人にかかるコスト	6,559,753	136,551	2.1	24.6
2 物にかかるコスト	5,821,447	191,711	3.4	21.9
3 移転支出的なコスト	13,039,730	1,701,366	15.0	49.0
4 その他のコスト	1,211,012	374,766	44.8	4.5
経常収益 b	881,231	△ 60,946	△ 6.5	
使用料・手数料等	881,231	△ 60,946	△ 6.5	
純経常行政コスト a-b	25,750,711	2,465,340	10.6	

- 経常行政コストは約266億円、経常収益は約9億円で、純経常行政コストは約257億円です。
- 経常行政コストは移転支出的なコスト（扶助費、補助費、繰出金等）が約130億円と全体の49.0%を占め、次いで、人にかかるコスト（人件費、退職金等）が約66億円と24.6%を占めています。
- 移転支出的なコストにおいては、平成21年度から新たに定額給付金給付事業による補助費が増えたこと等から、約17億円の増となっています。また、その他のコストにおいても、貸借対照表（負債）の長期未払金等で債務負担行為（PFIによる指定管理委託料等）の支出予定額が増えたこと等により約4億円の増となっています。よって、経常行政コスト全体では約24億円の増となっています。
- 市民一人当たりの純経常行政コストは、約30万円となっています。

## (3) 純資産変動計算書

H21.4.1～H22.3.31(単位:千円)

区分	金額
期首純資産残高	61,801,043
純経常行政コスト	△ 25,750,711
一般財源	19,982,300
うち地方税	9,365,894
うち地方交付税	8,114,545
うちその他	2,501,861
補助金等受入	6,698,057
資産評価替えによる変動額	△ 156,427
その他	195,198
期末純資産残高	62,769,460

## (4) 資金収支計算書

H21.4.1～H22.3.31(単位:千円)

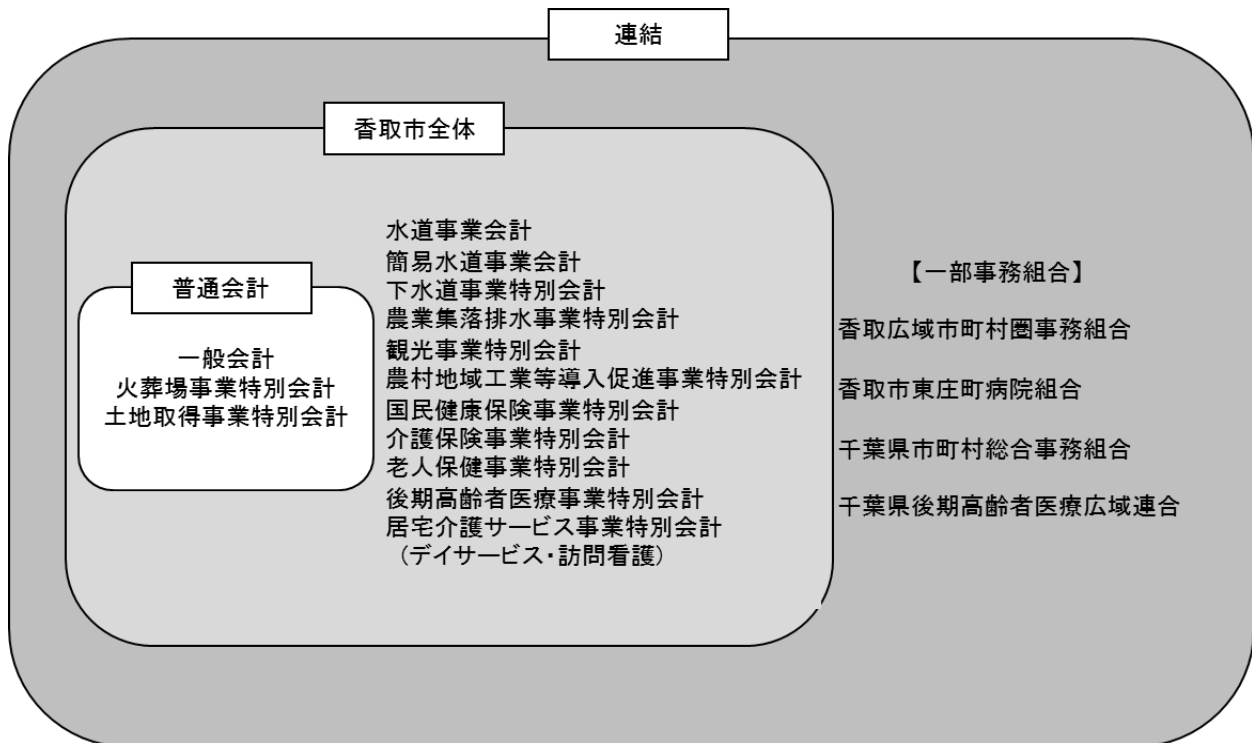
区分	金額
1 経常的収支額	6,135,308
2 公共資産整備収支額	△ 1,506,825
3 投資・財務的収支額	△ 3,680,266
当年度歳計現金増減額	948,217
期首歳計現金残高	877,023
期末歳計現金残高	1,825,240

- 純資産変動計算書は、貸借対照表の純資産の部に計上されている数値が、1年間でどのように変動したかを表しています。
- 資金収支計算書は、現金ベースで1年間の資金の流れ（フロー）を表しています。

### 3. 香取市の連結財務書類

連結財務書類は、普通会計に、水道や国民健康保険などの特別会計と、市が加入している一部事務組合を含めています。

《香取市における平成21年度の連結対象範囲》



### 連結貸借対照表 (バランスシート)

H22.3.31現在(単位:千円)

借方		対前年度 増減額	貸方		対前年度 増減額
[資産の部]			[負債の部]		
1 公共資産	142,138,574	150,159	1 固定負債	64,618,658	△ 87,527
2 投資等	6,661,959	△ 279,464	2 流動負債	5,478,928	△ 217,685
3 流動資産	8,334,003	2,191,657	負債合計	70,097,586	△ 305,212
4 繰延資産	70,334	7,539	[純資産の部]		
資産合計	157,204,870	2,069,891	純資産合計	87,107,284	2,375,103
			負債・純資産合計	157,204,870	2,069,891

- 資産総額は約1,572億円、負債総額は約701億円で、純資産総額は約871億円です。
- 市民一人当たりになると、資産は約185万円、負債は約82万円となっています。